

最優秀賞

一般建築物の部

～働き手を中心に据えたオフィスデザイン～

KIND Center

建築主：AGC株式会社 千葉工場
設計：株式会社渡邊健介建築設計事務所
施工：大成建設株式会社
所在地：市原市五井海岸10



東側外観を見る。段状に構成された内部の形式が建物ファサードにも現れる。

本作品は、AGC株式会社の千葉工場内に新設された鉄骨造4階建ての事務所ビルであり、働き手の快適性や交流を促進し、それを通じてwell-beingを実現する設計が随所に見られる。

建物の設計では、450mmごとの段差を連続的に配置し、フロア間で自然に視線が交差する立体的な空間構成が採用されている。この工夫により、偶発的なコミュニケーションが促進される仕組みである。

光環境では、AGCの素材であるETFE膜を使用した光天井が採用されており、昼間は自然光を柔らかく拡散し、夜間は均一な人工光を提供することで、空間に心地よい明るさと温かみをもたらしている。

音響面では、空間が連続していたり容積が大きい場合、制御が難しくなるが、大ホールはラインアレイスピーカーを採用することでクリアな音響を実現し、ゲストエリアにはマ

スキングシステムの導入でプライバシーを確保するなど、音響技術を活用して用途に応じた環境が提供されている。

特に注目すべきは、休憩スペースである。照度を抑えた柔らかな照明とデザイン性の高いインテリアが、落ち着いた雰囲気を演出している。心のゆとりは機能性だけを満たす空間では生まれないと常々思うのだが、丁寧な設計により、利用者が自分のペースで過ごせる柔軟な環境が提供されていることに驚いた。働き手を大切に思う企業の姿勢が伝わってくる。

書き綴りたいことはまだあるが、総括すれば、人の行動に合わせた空間操作、光や音の細やかな環境調整、意匠性と機能性が融合した設計によって、働き手を中心に据えたオフィス建築の今あるべき姿を示している様に思う。

(加藤 未佳)



3階より立体的に対面する広場を吹抜け越しに見る



西陽に対してアルミエキスパンドメタルによるルーバーを設置。隣接するゲストを迎える緑地と一体的に整備。

(撮影全て:鳥村鋼一)